

CA Vantage Storage Resource Manager Release 12.6



概要

CA Vantage™ Storage Resource Manager (CA Vantage SRM) は、複雑なエンタープライズ・ストレージ環境を手動で管理する際の問題を解決することを目的に設計されています。ストレージ・ベンダ中立のこのソリューションを使用して、ディスクやテープ・リソースおよびメディア、ロボットおよび仮想テープ・システム、データ暗号化、およびテープ管理システム向けのストレージ運用を統合することができます。

ポリシー・ベースの自動化機能によって効率性と生産性を高め、拡大し続けるストレージ基盤を高度なツールで管理することができます。このソリューションは、保存されているビジネス情報の保護を強化し、その可用性を高めながら、コストの抑制と柔軟な実装を通じて投資対効果を最大化することを目的に、お使いの System z® ストレージ・リソースの使用効率を高めるよう設計されています。

主なメリット / 成果

- **投資対効果の最大化**：差し迫ったビジネス上の問題に対処し、インフラストラクチャの最適化、データの可用性、コストの抑制、コンプライアンス、およびイニシアチブを実現します。
- **ストレージ・リソースの最適化**：ストレージの使用効率を改善することで、ストレージ・メディアへの既存投資を最大限に活用し、耐用期間を延長します。
- **ビジネス・サービス・デリバリの改善**：スタッフの生産性を高め、ダウンタイムやデータ損失のリスクを低減します。

主な特長

- **ポリシー・ベースの管理**：手動で行う日常的な管理、監視、レポート作成を自動化します。
- **一元管理**：複数の CPU でストレージ・メディアの状態を統合し、1つのビューで表示できるようにします。
- **トレンドと予測**：ハードウェア・レベルとアプリケーション・レベルで分析を行い、時期尚早なハードウェアの購入を削減します。
- **zIIP プロセッサの活用**：Million Service Units (MSU) の要件とテープ・ストレージの管理コストを削減します。
- **スケジューラの自動化**：ポリシーとレポート作成を自動化することで、日常的な手動の管理作業を減らします。

ビジネス上の課題

ストレージ環境を管理し最適化しながら、同時に高可用性を実現することはコストがかかり複雑な作業になります。ストレージ管理者はペタバイト規模のストレージを管理および提供するだけでなく、リスクの軽減、ビジネス・サービスの改善、コスト管理、および IT 投資と、ビジネス・ニーズの調整を行う必要があります。ストレージ管理者への課題は、拡大し続けるストレージ階層 (DASD およびテープ) を既存のリソースと人員で管理し、使用効率を向上させ、メディアを最適化し、一貫したビジネス上の価値を証明することです。そのためには以下の方法が必要となります。

- ストレージ管理を一元化し、ストレージ環境全体の適切な分析と管理を可能にする。
- 「移動中」やオフサイトにあるものも含め、複数の CPU でストレージ・メディアの状態が一目でわかるようにする。
- トrendを把握し、ストレージ使用率を予測するとともに、自動化、監視、レポート作成、および予測機能を企業規模で利用することで、既存のリソースを最大限利用する。
- 問題点をプロアクティブに特定して排除することで、ビジネス・サービスのレベルを向上させる。

ソリューションの概要

CA Vantage SRM は、ストレージ監視とポリシー・ベースの自動化を行うためのベンダ中立のソリューションで、複雑な管理タスクを統合して簡略化できるよう設計されています。オブジェクト・レベルのさまざまなアクションを使用して、スタッフを増員しなくてもより多くのストレージ・リソースをより適切に管理できます。さらに、問題点を早期に発見、解決することで、ストレージとメディアを最適化し、その耐用期間を延ばすことができます。z/OS テープ資産を保護し、暗号化鍵とデータの可用性を企業規模で維持することができるので、データ・セキュリティの要件にも対応できます。さらに、ハードウェアへの既存投資を活用しながら、仮想化によってテープの使用効率とデータ処理のパフォーマンスを向上させることもできます。

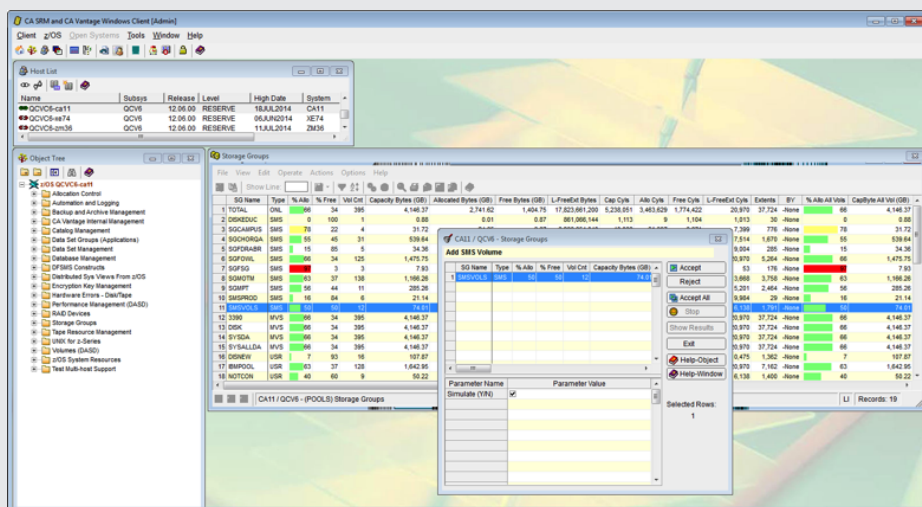
例外管理では、日常的に行う手作業を自動化し、さまざまな領域のしきい値に基づいて優れたトレンド分析と予測レポートを実行します。このソリューションでは是正措置を自動化し、DASD、テープおよびロボット、仮想テープ・システム、テープ管理システムを含むストレージ環境全体でストレージ不足を防止することにより、継続的なビジネス処理の実行を支援します。

重要な差別化要因

このソリューションは、ハードウェアではなくソフトウェアであるという点で従来のストレージ・ベンダの製品とは異なっており、そこそが重要です。ベンダ独自のストレージ専用製品では、ハードウェア固有の取り付け、管理、サポートしか提供されませんが、CAはその先を目指しています。CAは、お客様が最大の投資利益を得られるよう支援します。また、コンプライアンスと「環境に配慮した」取り組みに対処しつつ、効率性を改善し、ビジネス情報のセキュリティも強化します。

ベンダ中立のソリューションであるCA Vantage SRMは、CA Technologies、IBM®、EMC、Hitachi Data Systems (HDS)、Oracle® (StorageTek™) など、主たるメーカーのメインフレーム・ハードウェアおよびソフトウェア・ストレージ・プラットフォームに、自動ストレージ管理サービスを提供します。CA Vantage SRMは一貫したインターフェースと自動化システムを使用してこれらのプラットフォームを管理できるので、なじみのない複数のユーティリティについて学習する必要はありません。

ストレージの割り当ての表示 - ストレージ管理者は、現在のストレージ・グループの割り当てを表示し、特定のグループにSMS (Short Message Service) ボリュームを追加するか決定できます。



関連製品およびソリューション

- **CA Chorus™ for Storage Management:** より少ない時間と労力でストレージ・リソースを管理します。
- **CA Vtape™ Virtual Tape System:** 仮想化によってテープの使用効率とデータ処理のパフォーマンスを高めます。
- **CA Cloud Storage for System z:** クラウドの経済性を生かし、オンデマンドでストレージ・キャパシティを提供します。

詳細については、ca.com/jp/vantage をご覧ください。

CA Technologies (NASDAQ:CA) は、企業の変革を推進するソフトウェアを開発し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスを獲得できるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CAは世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。詳細については ca.com/jp をご覧ください。